

1. 我が国の社会科は、教養主義に基づいているため、教科書記述を誰に対しても中立で公平な絶対的真理として学習させる授業が作られやすい。(p.77)

2. なぜなら、一著作物に過ぎない教科書記述を中立公平な絶対的真理として教えることは、権威や常識に盲従する国家・社会の順応者を育成してしまうからである。(p.77)

**3. 教養主義の授業作りでは、
国家・社会の順応者は育成で
きても国家・社会の形成者は
育成できないわけである。**

(p.77)

4. ・批判的教科書活用論は、教科書の記述を事実そのものではなく作品として扱うことによって国家・社会の形成者を育成する社会科授業作りの方法なのである。(p.77)

5. しかし, この予想に反して批判的教科書活用論は、教科書の好き嫌いに関係なく, 多くの生徒に効果があったことが表5の集計結果から読み取ることができるわけである。

(p 86)

6. 本研究の成果は、批判的教科書活用論が①網羅的教科書文章観、②装飾的教科書資料観、③羅列的教科書紙面観の変革に役立つ理論であることが明らかになった点である。(p.88)

**7. 本研究の課題は、第2
の仮説を検証できなかった
ことである。(p.88)**